

## 「サマースタジオ2014」参加者募集

今年度も日本造園学会・関東支部企画にて、第10回学生デザインワークショップ「サマースタジオ2014」を開催いたします。造園、建築、都市デザインを学ぶ学生が集い、デザインを通じてお互いの感性を高めあい、議論を深め、社会的な課題に対して具体的な提案をまとめ、課題対象地の土地・都市の将来像を描きます。今年度は昨年を引き続き、福島県石川町における現地での合宿や報告会を予定しています。計画・設計実務者の指導のもと行われる講習会、合宿や発表会における地元関係者との交流や真剣な議論は、今後の貴重な財産となるでしょう。興味とやる気のある方は、奮ってご応募ください。

### 『原発の被害を受けた土地と向き合う・3 2014』

東日本大震災における原発事故の最大の被害をうけた福島県では、いまだに今後の将来像を描けていない地域が多い。放射線量の程度にかかわらず、風評被害として全県で生活・産業に深刻な影響が続いている。福島の復興なくして東北の復興はないとも言われている。

度合いの異なる被害状況の中でも福島第一原発から60KM圏に位置する福島県石川郡石川町に注目する。石川町は原発事故の避難指示解除準備区域(20km圏)に近接しながらも放射線量の非常に低い自治体、いわゆる「クールスポット」ともいわれる地域の最前線に位置する。そのため、原発事故の被害を受けた土地の復興のための後方支援の拠点ともなる可能性は高い。一方で、原発事故から派生した風評被害の克服が地域に重くのしかかる課題ともなっている。また、原発事故がなくとも高齢化や過疎化が進行する地域でもあり、地域活性化のためのアイデアが求められている。

サマースタジオでは現地でのワークショップにおける地元関係者との対話や現地環境の視察を通じて、生活や生業などに関わる具体的な課題や活かすべき環境資産を見だし、解決のためのアイデアや土地・大地との繋がりの中で「再び人々が豊かに暮らすことのできる」福島の将来像について考えていく。

同テーマでのワークショップは2012年度から石川町で開催され、1年目は、主に「風評被害克服」に重点おいた町と周辺地域も含んだ活性化のアイデアの検討をした。2年目の2013年度では、石川町といわき市久ノ浜地区との交流をもとに地域間連携に重点をおく提案を行った。今年は3カ年連続したプログラムの3年目にあたり、昨年度までに得られた知見や提案内容をベースに、更なる展開と深化を追求し、次世代に受け継げるような発展性の高い活動にしていきたい。

対象地：福島県石川郡石川町

(2014年5月の平均放射線量は0.058 $\mu$ SV/h(石川町役場))

実施体制：公益社団法人日本造園学会関東支部主催・同東北支部協力・石川町共催

後援：NPO法人ふくしま風景塾

## ■概要

### ○目的：

国土・都市形成におけるランド（土地・大地）のデザインの役割を重視し、そのプロセスにおいて、他大学の学生と議論を深め、自主的に考え、学ぶ機会を設ける。これにより、将来を担う幅広い視野を持った人材育成の一助とする。そして、社会性をもったランドスケープデザインを学生とチューター（教員、計画・設計実務者）が強く意識して取り組み、課題地域の土地・都市の将来像を描くものとする。

### ○ワーキング：

PHASE-1 現地ワークショップ（現地視察・関係者交流・将来像のブレスト）（必須＊）

PHASE-2 現地ワークショップ後のブラッシュアップ、中間発表、最終発表

具体作業：調査・計画・設計のプロセスを経て、図面、パネル、模型等の制作を行う。また、講評会用のプレゼンテーション資料を制作する。

＊ 12月の地元報告会までの継続参加が望ましいが、PHASE-1 現地ワークショップの参加のみでも可とする。

### ○重点テーマ

#### 1) 石川五山の造園計画

石川市街地を取り囲む五山（源平山、石尊山、八幡山、秋葉山、愛宕山）を、歴史、防災、観光の視点から計画。町役場産業振興課と連携しながら、「森林再生」など具体的な補助事業も取り入れた施策に結びつくような提案を行う。

#### 2) 阿武隈川とその支流、源流のランドスケープ

阿武隈川流域（野木沢、沢田地区）、支流域（市街地）、源流域（中谷、母畑）を、六次化や観光の視点からネットワークする。

#### 3) 「ドンダリの絆」プロジェクトへの参画と提案

石川町と久之浜町の小学生のドンダリ交流に参画。コンセプト提案を、低炭素杯などの環境コンテストへの応募や、東京農大学生の国際学生サミット（9月タイ国）での発表と連携していく。

### ○参加費用：

＊ワークショップ参加費：3000円（初回時に集金）

＊合宿参加費：約20,000円

（内訳）

交通費約4000円（東京-宇都宮往復）

宿泊費7000円×二泊

昼食代（500円×3日）

＊合宿・地元報告会参加補助費（一回、1万円程度）を距離に関わらず参加学生全員に支給予定。

＊制作補助費（1万円程度）は各チーム単位で支給。

### ○運営：

＊チーム編成：4～6人/チーム、6チーム程度を編成。

＊チューター制度：ランドスケープ設計実務者（RLA）、教員を中心に指導、助言を行う。

○スケジュール：

- ・ 8/9 (土)：参加者事前ブリーフィング・研究会 於：東京農業大学
- ・ 8/16 (土)・17 (日)・18 (月) 2泊3日：石川町 現地合宿ワークショップ
- ・ 9～10月：中間発表(東京農業大学、他)1～2回
- ・ 11/9(日)：ワークショップ最終成果発表(関東支部大会)於：山梨大学甲府キャンパス
- ・ 12月：石川町 地元報告会

○合宿プログラム(詳細は今後調整)

移動：マイクロバス(宇都宮駅まで送迎予定)で移動×3日間

宿泊：石川町内旅館

発表等会場：石川町内施設

1日目：8/16(土) 目標：現地環境・産業の視察→環境資産の発見

2日目：8/17(日) 目標：地元関係者や住民の方々との対話→人文環境のイメージング

3日目：8/18(月) 目標：課題の整理と将来像のブレスト

■応募方法

○資格：大学 学部生・大学院生・研究生(学校、学部、学年、居住地域は問わない)

○レポート：下記レポートをEメールにて担当事務局宛にお送り下さい。

レポートはチーム編成の検討資料となります。

1) 学校、学部、学年、氏名、メールアドレス(PC用が望ましい)

2) 以下に対する意見レポートを添付。(a, b 含み 400 字程度)

a. テーマに対する問題意識

b. サマースタジオへの参加動機

○締切：2014. 07. 30(水) 必着

■問合せ、提出先

○担当事務局：東京都国分寺市南町 3-1-33-202 (〒185-0021)

(株) ヒュマス 霜田亮祐(関東支部運営委員)

TEL/ FAX：042. 202. 0703

E-mail：ss2014.jila.kanto@gmail.com (本企画専用アドレス)